

令和6年第4回教育委員会定例会 会議録

1 開催日時 令和6年4月17日（水）午後2時00分～午後3時00分

2 開催場所 春日井市役所9階 教育委員会室

3 出席者

【教育長】 児島 靖

【委員】 河合 香吏

【委員】 竹田 卓弘

【委員】 浅井 敦臣

【委員】 向 文緒

【事務局】 教育部長

いきがい創生部長

教育総務課長

同 課長補佐

同 担当主査

同 主任

学校教育課長

同 主幹

同 課長補佐

学校給食課長

文化財課長

野外教育センター所長

同 主幹

いきがい推進課長

文化スポーツ振興課長

図書館長

森本 邦博

大橋 弘明

中山 一徳

田之上 愛子

砂田 恭平

倉知 美香

前原 敦

梶田 英男

山崎 俊介

加藤 純也

北野 将好

生倉 勉

坂野 年伸

大野 利重

田中 芳樹

四ツ倉 光一

4 議 題

(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

5 報 告

- (1) 令和6年第1回市議会定例会について
- (2) 学校運営協議会について

6 議事概要

教育長	本日の傍聴者は1名です。
教育長	春日井市教育委員会会議規則第6条第2項の規定により、会議録署名人は、河合委員を指定。
教育長 (報告事項)	<p>本日は、この2週間の状況と今年度の主な教育委員会の取組について報告します。</p> <p>4月1日に八幡小学校の体育館で教職員辞令伝達式を行いました。今年度は、47名の新任教職員を迎えました。4月4日に小学校の入学式、4月5日に中学校の入学式及び小中学校の始業式を行い、令和6年度がスタートしました。</p> <p>新年度の体制を報告します。</p> <ul style="list-style-type: none">・学校数に変更はありません。・児童生徒数 小学校 16,058名 中学校 8,309名 計 24,367名・新入生 小学校 2,408名 中学校 2,619名・学級数 小学校 679学級 中学校 289学級 計 968学級・教職員数 1,508名 <p>子どもの人数が減っている中、プラス2学級となった理由としては、特別支援学級の増設が多かったということがあります。また、教職員数は学級数の増加に伴い増加しており、常勤講師・非常勤講師・会計年度任用職員等を含めると、総数は2,100名を超えます。</p> <p>1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークが整備され3年が経過しました。この3年間の実践の結果、教職員が授業中でも一人ひとりの反応を把握できたり、子どもたちも一人ひとりの考えをリアルタイムに共有できたり、双方向での意見交換が可能になるなど、学習活動の一層の充実が図られています。本市の取組は全国的にも高く評価されており、高森台中学校と出川小学校は、文部科学省の次期学習指導要領の改訂に向けた研究開発校として、今年も取り組んでいます。今年度3年目を迎え、その成果を11月1日に発表する予定です。今年度は、春日井市内の先進的な実践を発信する</p>

リーディングDX事業の指定校として、藤山台小学校・松原小学校・中央台小学校・高森台中学校・坂下中学校の5校、そして、その協力校として勝川小学校・松原小学校・神屋小学校・押沢台小学校・出川小学校の5校が取り組んでいます。また、愛日地方教育事務協議会の研究委嘱として、今年度から2年間、坂下中学校が学習指導の研究に取り組んでいます。

部活動については、昨年度2学期以降、将来にわたってスポーツ・文化に親しむ機会を確保するために地域移行を進め、地域クラブが始まりました。この4月より、自校にない種目は他の中学校の活動にも参加できるようにし、また、新たにダンスクラブを市内2か所で開設するなど生徒の選択肢を増やしました。今後は、生徒数が少ない活動や指導者がいない活動について、統合を進めていきたいと思っています。

学校と地域の連携の推進を育むために、藤山台小学校・藤山台中学校でコミュニティ・スクールを導入していきたいと思っています。

また、市の公共施設個別施設計画に基づき、鳥居松小学校のリニューアル工事が今年度末に終了し、新たに味美小学校・篠木小学校・東部中学校で工事を進めています。

増加する不登校児童生徒への取組としては、数年前から取り組んでいる登校支援室の運営だけでなく、民間のフリースクールとの連携、そしてメタバースを活用したオンラインの登校支援を始めます。

教育長

1 議題

(1) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

学校教育課主幹

資料に基づき「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について説明。

河合委員

実技に関する調査で、テスト項目として挙げられているものは、全て実施するということか。

学校教育課主幹

そのとおりである。

河合委員	20mシャトルランとはどのようなものか。
学校教育課主幹	20mの幅をラインで示し、リズムに従いラインの間を走って戻るを繰り返し、それが何往復できるか計測する種目である。
教育長	採決の結果、全員一致で「資料のとおり」決定。
教育長	2 報告事項 (1) 令和6年第1回市議会定例会について
教育総務課長	資料に基づき「令和6年第1回市議会定例会」について説明。
向委員	19ページ「小学校のプールについて」の答弁要旨に、民間スイミングスクールの活用について、7年度には全ての小学校で実施していくと書かれている。昨年度の定例会では、メリット・デメリット・リスクもあるので、6年度に実施してみても検討してはどうかと意見をし、6年度について実施ということで決まっていたと思うが、この件についてどうか。
教育総務課長	7年度予算編成はまだこれからであり、あくまで予定として述べたものである。
向委員	7年度も実施する方向で希望しているのか。
教育総務課長	そのとおりである。
学校教育課主幹	今年度実施してみても課題も色々出てくるので、それも踏まえて、次の年に生かしながら実施していく方向で考えている。
向委員	全面実施するにしても留意点があると思うので、来年度の計画にあたって色々議論できることを期待している。
浅井委員	25ページの「中学校の校則について」だが、校則はベースがあり、それに基づいて各学校が決めているのか。

学校教育課主幹	<p>統一したベースがあるわけではなく、各校がこれまで培ってきたものがベースになっている。</p> <p>生徒指導提要で校則の改善が呼びかけられているということもあるが、昨年、市内統一のブレザータイプの制服が導入されたのを機に、一部の学校では、ルールメイキングプロジェクト等として生徒が校則について考えるという学校独自の取組を行っている。</p>
浅井委員	<p>学校毎で特色が出るということか。</p>
学校教育課主幹	<p>そのとおりである。</p>
竹田委員	<p>30ページに「過大規模校について」とあるが、過大規模校では具体的にどのような問題点があるのか。</p>
学校教育課長	<p>教室が足りなくなる、なかよし教室の利用者が多く指導員が対応しきれない、また、ロッカー等の設備が足りないということが起きている。</p> <p>過大規模校だけでなく過少規模校もあるため、学校の適正規模について検討していかなければならない。</p>
竹田委員	<p>小野小学校と中部中学校について、現に教室が足りない等設備上の問題は起こっているのか。</p>
学校教育課長	<p>学校運営には支障は出ていないが、放課後に使用する教室が足りていない状況がある。</p>
学校教育課主幹	<p>プレハブの校舎を建てて対応している学校もある。また、学校規模が大きいと行事でイレギュラーな事態が生じた際に切り替えが難しい。例えば、予定していた会場が使用できなくなった場合に、すぐに会場を変更することができないということが起きている。</p>
河合委員	<p>21ページの「不登校対策について」だが、メタバースを活用したオンライン不登校支援は始まっているのか。</p>

学校教育課主幹	昨年度試行し、今年度本格的に実施をしていく。今は利用者の募集をかけているところである。
河合委員	今のところ、結構反応はあるのか。
学校教育課長補佐	<p>昨年度試行し、当初はなかなか利用が伸びなかったが、利用者が出始めると、やってみたいという声も広がり始めた。</p> <p>今まで人とほとんど関わりを持てなかった子が、一人ひとりのサポーターのような存在であるメンターとメタバース空間でコミュニケーションを取れるよう慣れるところから始まり、だんだんとメタバース空間を共有している他の利用者ともコミュニケーションを取るなど、家族以外との関わりを持てるようになってきたという効果が、令和5年度の報告では上がってきている。</p>
河合委員	1人1台端末を使って行うのか。試行の段階ではどのような機材を使用していたのか。
教育長	不登校の子にも端末は貸し出ししているのか、それを使用しているかと思います。
河合委員	<p>1人1台端末を使った方が、環境が整いやすい。</p> <p>他市では画面を通して対面で行うことも進められている。春日井市も今後そのようなことが可能になっていくのか。</p>
学校教育課長補佐	現在、メンターとのやり取りの際に、音声及び画面のオン・オフを選択することができる。「画面をオンにしてくれた」「画面をオンにする回数が増えてきた」という報告も上がってきており、進む子は少しずつ進んできている。
向委員	29ページの「教育委員会の後援について」だが、後援を決定する時に提出する資料はどのようなものがあるのか。
教育総務課長	申請時には、組織の規約や予算、事業概要等を提出いただいている。また、事業後は、実績報告書を提出いただいている。

向委員	新規の団体等は、やってみて問題があつてはいけないので、少し慎重に内容を精査した方が良いのではないかと思う。
教育長	(2) 学校運営協議会について
学校教育課長	資料に基づき「学校運営協議会」について説明。 ○参考資料について
浅井委員	11ページのスクールサインについてだが、良い制度なので、周知を徹底してほしい。
学校教育課主幹	中学校だけでなく小学校5・6年生を中心に小学校でも周知をしている。
竹田委員	44ページのレファレンス（読書相談）は、具体的にはどのような相談があるのか。
図書館長	こういう本を探しているが図書館にあるか、こういうことを研究しているがどのような本を調べると良いか、こういう記載のある本を探してほしいというような相談がある。相談を受けて本を探し、本がなければ何らかの参考資料や情報を探し出し回答している。
竹田委員	こういう研究をしているので、こういう内容の載ったものなどを探しているという相談にも対応してもらえるのか。
図書館長	例えば数十年前に行われた高校野球の予選大会の試合結果について知りたいというような相談にも、新聞等の記事を探して答えることができる範囲で答えている。

上記のとおり、議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、教育長及び指定された会議録署名人が署名する。

令和6年5月16日

教育長 児島 靖

署名人 河合 香吏